



年 組 名前

道新ワークシート

100万瓩風力檜山沖も計画

【江差】石油元売り大手コスモエネルギーホールディングス（東京）の子会社「コスモエコパワー」（同）は9日、檜山管内沖で総出力最大100万瓩の洋上風力発電所の建設を計画していることを明らかにした。大規模な風車を最大125基設置する計画で、洋上風力発電所の具体的な計画としては国内最大級。停止中の北海道電力泊原発（後志管内泊村）の3号機（出力91万2千瓩）を上回る規模となる。

（古田裕之）

コスモエコパワーが同日、檜山管内江差町で開いた住民説明会で計画の概要を説明した。上ノ国町からせたな町までの沖合の水深約200メートルまでの範囲を事業実施区域として想定。出力は1基あたり8千～1万2千瓩で、風車の高さは海水面から189～245メートルを予定している。

沿岸からの水深が約50メートルの海域は風車を海底に固定する「着床式」、約50～200メートルの沖合は風車を海上に浮かべる「浮体式」の方式を採用し、風速が6・5

コスモ子会社 国内最大級

以上の場合に設ける方針だ。事業費は未定。

同社は江差町を含む道内8カ所の陸上で風力発電事業を行っている。檜山沖は安定した強風が吹くため、洋上風力発電所の建設に適していると判断した。同社事業開発部は「地域住民や地元業者との共存共栄を目指して取り組んでいきたい」としている。

昨年成立した洋上風力発電普及法に基づき、国が洋上風力を優先して整備する「促進区域」に檜山沖を選んだ場合、事業者を公募し、

事業の実施能力や地域経済への波及効果などを評価する。選ばれた事業者には発電設備の占用許可が与えられる。檜山沖が促進区域に選ばれるかどうかは不確定なため、着工や稼働の時期は未定だという。

檜山沖ではすでに、電源開発（東京、Jパワー）が総出力72万瓩の大規模洋上風力発電所の建設計画を明らかにしている。コスモエコパワーは石狩湾沖でも総出力最大100万瓩の洋上風力発電所の建設を計画している。

2019年11月10日（日） 朝刊 全道遅版 1P（記事は再編集しています）

①本文から檜山沖が洋上発電に適している理由をさがし、11字で書き抜きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

②次の表の空欄を埋めなさい。

水深	方式
水深約（ A ）m	着床式
水深約（ B ）m	（ C ）

A _____ m

B _____ m

C _____

③現在コスモエコパワーに加え他の会社も檜山沖に建設を計画しています。合計で何キロワットの計画がありますか、数字で答えなさい。

キロワット